

厚内公民館だより

令和5年4月25日発行

発行責任者：厚内公民館長

令和5年度 寿大学開講式

4月12日(水)、令和5年度厚内寿大学開講式が行われ、元気に12名の寿大学生が入講。式には水澤町長はじめ5名の来賓が出席、激励の言葉をいただきました。

今年も、声をかけ合って元気で楽しく学んでいきたいと思えます。



公民館カフェ MOCHIYORI 喫茶かもねぎ

5月24日(水) 15:00~17:00 Open
無料です!

参加自由の厚内公民館カフェです。各自おやつを持ち寄りお喋りしながら楽しい時間を過ごしませんか!卓球台・ポッチャや子どもたちの遊び道具もありますよ!



子どもの日映画会
五月五日(木)
十時~十二時
厚内公民館2階
「トムとジェリー」他

4月下旬・5月の予定

26日(水)	寿かもめクラブ
28日(金)	初心者マージャン体験教室
30日(金)	厚内地区清掃活動
5月1日(月)	健康カラオケ教室
5日(金)	子どもの日「マンガ映画会」
7日(日)	厚内地区一斉ゴミ拾い予備日
8日(月)	寿大学「健康相談」・ふまねっと例会
9日(火)	子ども育成会総会
10日(水)	初心者麻雀体験教室
16日(火)	そば打ち同好会例会
17日(水)	寿かもめクラブ
19日(金)	寿大学運営委員会
22日(月)	ふまねっと例会
23日(火)	公民館ゼミ「睡眠と健康の知恵袋講座」
24日(水)	公民館カフェ「喫茶 かもねぎ」
30日(火)	公民館運営審議会厚内部会(予定)

厚内地域一斉清掃活動のお知らせ!

自分たちの手で街をきれいにしようと、今年も生活道路をメインに一斉ゴミ拾い清掃活動を行います。声を掛け合ってください。

地域の皆様のご協力をお願い申し上げます。

厚内地区ごみ拾い清掃準備委員会

主に町道厚内上厚内線のごみ拾いを行います

日 時 令和5年4月30日(日)
午前9時から2時間ほど
(雨天時は5月7日に順延します)

集合場所 厚内公民館駐車場
集積場所 公民館駐車場(例年のとおり)
※参加者は、出発前に受付でゴミ袋と飲み物を受け取ってください。
※町民社会活動総合制度保険に加入しています。
※参加される方はハマネスポイントカードを持参下さい。もれなく行政ポイント(10P)を贈呈します。

公民館講座「初心者マージャン体験教室」

日 時 4月28日(金)・5月10日(月) 13:30~15:00

会 場 厚内公民館

※頭脳と指先のリフレッシュにいかがですか。



- ◎地域で進めよう!! 「挨拶」「早寝、早起き、朝ごはん」「ノーテレビデー」「家読・朝読」運動
- ◎町民みんなで体力づくり!!
- ◎小中一貫コミュニティ・スクールの推進

浦幌町教育の日(毎日が教育の日です)



冬季減災・防災への^{みおつくし}潯標

「第一弾」

“厚内を襲った
巨大地震・津波”
体験者に聞く NO 2

語り部 長根悠 紀夫さん
後藤 茂子さん

出席者 大坂千代人さん 橋本 進さん
吉田勝彦さん 西 雅宏さん
齋藤卓也さん
聞き手 厚内公民館長
記録 長根むつみ
日時 令和5年1月26日午後1時
会場 厚内公民館

<前号から続く>

館長 裏山には何日避難したのですか？

長根 何日とかはない、何時間だけだな。津波が引いてからは家が近い人は帰っていたし、家が崩れているとかもなかったから…。でも、川岸にいた人たちは大変だったようだよ。

館長 学校はすぐ再開できたのですか？

長根 学校はしばらく休みだったと思うよ。

館長 そのあと何度か大地震がきていますが、若い方たちに何か伝えておきたいことはありますか。

長根 津波の事を覚えている人たちはもういなくなったね。特に伝えることはないけど…、もう少し町として避難通路や避難小屋の整備などの事を考えて欲しいな…。

大津を参考にして欲しいね。

—語り部 後藤茂子さん登場—

後藤 こんにちは、3.11の写真持って来てみました。

館長 ありがとうございます。先に長根さんから話を聞いていたところです。

後藤 そうですね、いや～、私は昭和27年の十勝沖地震の時は1年生だったから逃げるので精いっぱいでした。浜の三角点(山のてっぺん)までみんなで逃げたんだよね。私はお兄ちゃんに手を引っ張られて逃げたのが嬉しかったのを覚えている…。一生忘れないね。学校では、地震のあと1年生から6年生まで小学校の外に避難したの、しばらくしてから学校の中に入ろうとした時にまた大きく揺れて…、2回目の方がすごい揺れだったから、先生たちは、これではダメだと思ったのか、全校生徒を帰したの…。その時にお兄ちゃんと一緒に帰れると思って嬉しかったんです。津波が来る前だからね…。
—参加者が増えてきて・・・—

館長 それでは話を戻しますが、長根さんは5年生、後藤さんは1年生、大坂さんは3年生。橋本さんは？

橋本 俺は満5歳だった。全て覚えているよ。その頃、俺、腕を折っていて病院に通っていたんだ。

家が流されて避難したんだよね。

館長 昭和27年3月4日に十勝沖地震が起きました。今から70年前の事です。午前10時22分でした。

長根 もう70年たつか…。

館長 その頃の大変だったこととか、思い出話を聞かせて下さい。大坂さんはどうですか？

大坂 俺ね、学校から外に逃げる時、玄関で人の下敷きになった記憶があるのよね。大勢だったからね。

後藤 私が飛び越えていったかも、とりあえず全員で校庭に逃げ、揺れが落ち着いたから中に入ったんだけど、前より大きな揺れが来て、どこに掴ればいいのかわからなくなるぐらい揺れ、悲鳴を上げている子も沢山いたよ。

齋藤 当時、子どもは多かったのですか？

後藤 ひとクラス20人ぐらいでした。2回目に大きく揺れた後、全校生徒はそろって帰宅していうことになって、それで私たちは厚内神社から山に上がって、山道を歩いて浜の家に帰ったんです。1年～6年生、30人ぐらいいたと思います。私は1年生だったからお兄ちゃんに手を引かれて帰りました。山を下ると、また大きく揺れ、父親が山に逃げなきゃだめだと言ったので、すぐ山にあがったんです。今の浜の会館の直ぐそばに小さな広場があったので浜の人たち皆で避難したんです。

館長 けど、3月の初めて、山の雪はすごかったのでは？

後藤 もうすごかった…。雪をこいで山に登ったんです。そのあと近所にいた寝たきりの人をみんな運んで避難させたのを覚えています。それから家にいって毛布やらご飯が入っているおひつとかを母親が持ってきました。うちで働いていた若い子たちが家からミシンを担いできてくれました。そこで一晩過ごしました。

館長 夜は寒かったしょう？

後藤 寒かったけど沢山人がいたし、ムシロを敷いて、その上に布団敷いて、服をいっぱい着て過ごしたのを覚えています。山に逃げた時はすごく雪が深かったよね？

長根 うん、長靴はいていたけど深くて間に合わない…。

西 波はどこまできたんですか？

後藤 今ある道路よりも少し上がったところかな。チリ地震の時はそこまではなかったけど…。チリ津波の時、普段少ししか見えない岩が全部見えていて、私は、それに登れと言われて登りました。上に立った時大坂さんがカメラ持っていたので写真を撮ってくれたんです。

—(笑いがおきる)—チリ地震は私が5年生だったかな？

橋本 チリ津波の時はみんな潮が下がるので喜んでた。決して津波を喜んでたわ

けじゃないけどね、みんなホッキが取れるから喜んでたな—(笑いがおきる)—

長根 磯にアブラコとかカレイとかも跳ねていたな。

吉田 浜市街の前浜はすごく広がったので、これまで津波が来て家が流されたというのは聞いたことが無いな。

館長 当時、連絡はどうでしたか。

長根 先ずは自分の判断だったな。電気もサイレンも無いからね。

後藤 とりあえず親や年寄りの言う事を聞いて逃げるのが一番です。それしかないよね。父は櫓に登って半鐘を鳴らしていました。

子どもだったから避難場所で騒いで叱られた覚えがあります。夜になったら皆で布団をひっくり返して遊んで騒いでね…。

橋本 俺は、市街に居たので皆で厚内駅に逃げたんだよね。津波がひどくなったら線路を超えて齋藤さんの牧場に逃げようということでした。

館長 アッという間に2時間たってしまいました。最後に皆さんに伝えたいことはありますか。

吉田 地震が来たら ヤッと逃げれ！

長根 大きい地震が来たら先ずは津波が来るぞと頭に入れて置くことかな。

後藤 地震イコール津波だと思う！

テトラポットも沈んでしまっって高波の時も危険。何とかして欲しいです。

橋本 いつも言っているように誰かが助けてくれるという考えは捨てなければならぬと思う。命は助かる・助けるは自分しかいない。後で救助してくれると待つのは遅い、既に津波が来てしまっているのだから。その前に、考え行動に移しましょう。

地域の生き字引のような皆さん。津波以外の話題も豊富。今後、整理して掲載できればと考えております。

館長

減災・防災への嚆標(みおつくし)第三弾開催!

4月1日、厚内公民館において防災セミナー「津波研究者に聞きます!」が開催されました。道防災教育アドバイザーで道教育大学釧路校の境智洋教授が自ら浦幌で採取した大津波の痕跡が解る約5000年分の地層標本を基に、「今、大津波がいつ来ても不思議ない状況だ!」「地域の皆さんが率先して避難し、命を守って頂きたい」と話されました。

講演の詳細については次号にて紹介いたします。



端午の節句

ご寄贈有り難うございます!

厚内4区の広尾律子様から五月人形飾りをいただきました。ロビーに展示しています。是非お立ち寄りご覧ください。



**浦幌町教育功績者表彰
受賞おめでとう!**

3月27日、中央公民館において表彰式が挙行されました。

本町の社会教育・社会体育振興に尽力された次の方が表彰されましたのでご紹介します。

- 大塚美也子 さん
- 齋藤 卓也 さん
- 水澤 賢一 さん



災害は繰り返す! 大津波や大噴火は短時間先の予報も有

俳句

黄沙舞い洗車場は黄河なり
春泥にまとわれ歩み遅々なりて
水仙花香り漂い朝日萌え
初三つ葉湯に放しおき香をたてり

佐藤芳雄

俳句

春光の両手を広げ風を飲む
八十路春白の想いを風に乗せ
短歌
果てしなく海の青さに癒されし
海の恵みに感謝で食す
一筋の光をもとめ生きてきた
もとめる光未だ掴めず

佐藤成子

俳句

エゾバイのしょう油味付け春厨くりや
句作所行日々新たななりおらが春
川柳
品薄で卵が先か鳥先か
武器買えば先立つ不安子は産めぬ

皆川昭徳

**四季の移ろいや日常の営みから
生まれた言葉ことばを紡いでみませんか
※投稿をお待ちしています**

厚内公民館図書室に新刊が100冊入りました。
ご利用をお待ちしております。



日々憶測
トコトンやさしいVRの本
新宗教驚異の集金力
塗り絵で脳トレーニング
電レンジで超ラクごはん
津波は怖い
牛乳の秘密
すごい虫ずかん 他92冊

独り言

公民館前庭のポールで鯉のぼりが元気に泳いでいます。時折、逃げ出すことがありますので、見かけたらご連絡ください。

この便りが皆さんのお手元に届くころには厚内も桜が満開かもしれません?今年こそ皆で花見会ができればいいですね!

(桜も酒もこよなく愛でる館長より)